

【兵庫県 香美町】

1人1台端末の利活用に係る計画

1 1人1台端末を始めとする ICT 環境によって実現をめざす学びの姿

「香美町教振興基本計画」の基本方針の一つに「子どもたちの未来を切り拓く力の育成」を掲げている。これからの激しい変化が予測される社会において、子どもたち一人一人にとって、困難な状況に立ち向かう能力が求められている。

そのために、これからの教育は主体的・創造的に生き、未来を切り拓く、たくましい人間の育成をめざし、直面するさまざまな課題を乗り越えて生涯にわたり学び続ける資質・能力を育むことが大切となる。

その力を身に付けるため、情報活用能力の育成が重要であり、ICT 教育の推進は欠かすことのできないものとなる。

2 GIGA 第1期の総括

令和2年度に1059台の GIGA 端末、タブレットの充電保管庫、100人を超える学校の校内 LAN 配線を10Gbps の通信に対応できる Cat6A ケーブルに更新、各小・中学校の未整備教室に無線 LAN ルーターを整備した。

また、貸出用モバイル Wi-Fi ルーターを整備し、学校だけでなく家庭学習においても端末の利活用促進に繋げた。

これにより、GIGA 第1期において、すべての児童生徒に端末が行き渡り、授業内での ICT 活用が日常的に行えるようになった。

教員も ICT を活用した授業に取り入れ、調べ学習やデジタル教材を使った授業が増加した。

一方で、毎日の利用による端末の故障、破損の発生、そのメンテナンスや端末の管理の負担が増加した。

今後は計画的な端末の更新による管理、メンテナンスの負担軽減を図るとともに、児童生徒、教員における情報モラルや ICT 機器の活用に関する研修を実施し、児童生徒一人一人の学習ペースやニーズに合わせた個別的・最適な指導を推進していく。

3 1人1台端末の利活用方策

令和2年度に整備、令和3年度から本格稼働した1人1台端末は、令和7年度で5年が経過する。そのため、令和7年度に第1期と同様に Windows を全児童生徒分と予備機を合わせた1000台の端末更新を行う。

また、以下の取組を行い、ICT 環境の充実を前提と、1人1台の効果的な利活用を推進する。

1) 委託業者による GIGA スクール運営支援センター業務を継続

「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善にいかすため、端末を日常的に活用できるよう、学校訪問時にサポートを行い、ICT 活用指導力の向上を図る。

2) 個別最適・協働的な学びの充実

授業支援ソフト(xSync Classroom)バイシンククラスルームの活用し、子どもたちが自分の考えをまとめ、発表・表現することや教職員・子ども同士でやり取りすることで協働的な学びを充実させる。

AIドリル(ラインズeライブラリ)の更新

子どもたちが自分の理解度に合わせて課題に取り組める AI ドリル。一人ひとりの得意分野と苦手分野を分析することで、子どもたちそれぞれの力が最も伸びるような最適な学習を目指す。

3) 全ての児童生徒の学びを保障する

不登校の児童生徒や、普通学級に籍をおきながら週に数回、別室、あるいは別の施設で自分の障害の特性に合わせた内容の指導や訓練が必要な児童生徒に対し、端末を活用することで、学びの幅を広げ、さまざまな状況の児童生徒の学習機会を確保していく。

各学校の実態に応じて、端末を活用し、希望する児童生徒に対し、教育相談や、オンラインでの授業を実施する。

4) 教員の ICT 活用格差をなくす

学校の中で、導入ソフトの効果的な使い方を共有し、どの学校でもICTを十分に活用できるような体制を整える。特にICTを苦手としている教員に対しては、個別にフォローする等の伴走支援を実施する。

教員が端末や各種アプリの利活用に積極的になることで、子どもたちの利活用が促進されることを目指す。

子どもたちの利活用を推進するにあたって、各学校のニーズや課題に応じた教員へ研修を実施する。